

平成 21 年 7 月 22 日

独立行政法人国民生活センター

### 強化ガラス製食器の破損事故

－強化ガラスの種類によっては破損時に激しく破片が飛ぶことも－

「妻が、ガラス製の鍋ふた付きの両手鍋で煮物を調理中、ふたを鍋から外してキッチン台に置いたところ、突然ガラスが粉々に割れて破片で手にケガをした。鍋ふたは、鍋とセットでその日に購入したものである」という情報が消費者トラブルメール箱\*注に寄せられた(写真①参照)。事故品の鍋は中が見えるようガラス製のふたが用いられていた。

この他にも「景品でもらった輸入品の皿に炒めた春雨を盛り付けたところ、爆発したような音がして皿が破裂した。皿が強化ガラス製だとは知らなかった」という事故情報が消費者トラブルメール箱に寄せられている(写真②参照)。

これらの事故は「全面物理強化」と呼ばれるタイプの強化ガラスで発生した。

強化ガラスは、落下衝撃などに弱いガラスの強度的な欠点を補い、安全性を向上させるために開発された。現在 4 つのタイプがある(次頁参照)。その中で「全面物理強化」「全面積層強化」(以下「全面物理・積層タイプ」という)は、割れ方が一般的なガラスや他の強化ガラスと違い、破片が鋭利なかけらまたは細片となって激しく飛散するという特性がある。

当センターでは 2000 年 3 月に、「知っていますか？ こんな危険 ガラス食器類の破裂や鋭利な割れ面で深い傷!!」において、全面物理強化製のガラスの危険性に触れているが、その後も PIO-NET(全国消費生活情報ネットワーク・システム)に相談が寄せられている。この背景には、消費者に強化ガラスの特性や取扱いの注意事項が十分に伝わっていないなどの問題点が考えられる。

そこで今回、全面物理・積層タイプの強化ガラス製食器について、消費者に注意喚起するとともに関係機関に要望・情報提供することとした。

〔写真①〕



〔写真②〕



\*注：「消費者トラブルメール箱」：消費者被害の実態をリアルタイムで把握し、消費者被害の防止に役立てるためにホームページで消費者からの情報を集めている。相談受付ではないため、これにより具体的なアドバイスやあっせん処理は行わないが、寄せられた情報をもとに、必要に応じて調査・分析・検証などを行い、消費者被害の未然防止・拡大防止に役立っている。

## 1. 強化ガラス製食器の破損事故の件数・事例

PIO-NETに寄せられている強化ガラス製の食器に係る危害・危険情報は、過去10年間で111件である。内訳は、危害20件、危険91件で、危害程度1ヵ月以上が1件ある。事故が発生した食器の種類別では、鍋やフライパンなどのふたが54件と最も多く、次いでコップやグラス、皿などの食器の42件などとなっている。(参考2参照)

[PIO-NETの相談事例(参考3参照)]

〔鍋ぶたの事例〕	3年前に購入の鍋で煮物を調理していた。強化ガラス製の鍋ぶたを載せたところ、破裂するように粉々に砕けた。(事故年月：2008年12月 当事者：70歳代、女性、青森県)
〔グラスの事例〕	約1年前にセットで買ったグラスの中の1個が、食器棚の中で粉々に割れていた。(事故年月：2008年8月 当事者：40歳代、女性、長崎県)
〔皿の事例〕	洗って乾かした強化ガラス製の皿を収納しようと手に持ったところ、破裂するように突然割れた。(事故年月：2006年4月 当事者：50歳代、女性、埼玉県)
〔調理用ボールの事例〕	洗浄した強化ガラス製調理ボールの上に重ねるようにプラスチックのボールを置いてたところ、10分くらい経過してから爆発音と共に粉々に飛び散った。(事故年月：2008年10月 当事者：50歳代、女性、群馬県)

## 2. 食器に使われるガラスの種類と特徴

種類	組成等による名称	家庭用品品質表示法の種類等	特徴	破損時の特徴	用途など
一般的なガラス	ソーダ石灰ガラス		透明で水や薬品に犯されにくく不燃性であるなど“ガラスの特性”を保持し、溶融性に優れ、安価である。	破片の破断面は鋭角で、けがの危険性は大きい。	板ガラス、びんなど容器ガラス 食器(コップ、グラス、ボール、皿類など) 工芸用(花器、置物など)
強化ガラス(4種類)	ソーダ石灰ガラスなど	①全面物理強化 ②全面積層強化	全面物理強化は、主に成形したガラスを熱処理して製品全面の表面に圧縮歪層(ひずみそう)をつくることにより、機械的・熱的強度を増大させたもの。 全面積層強化は熱膨張係数の異なる2種類以上のガラスを3層以上に重ね合わせることで、製品全面の表面に圧縮歪層を設け、製品の強度を増大させたもの。	全面物理強化、全面積層強化は、破片が鋭利なかけらまたは細片となつて激しく飛散することがある。	板ガラス、コップ*1、鍋ぶた*2、皿類、調理用ボールなど *1 コップー全面物理強化のコップ類はすべて輸入品である。 国産のコップの強化は、ほとんどが口部強化である。 *2 鍋ぶたー耐熱ガラス製もある。
		③口部強化 ④全面イオン強化	口部強化は、主に成形したガラスを熱処理して口部の表面に圧縮歪層(ひずみそう)をつくることにより、機械的・熱的強度を増大させたもの。 全面イオン強化は、ガラス表面をイオン交換することによって、ガラス製品全面の表面に圧縮歪層を設け、製品の強度を増大させたもの。	口部強化、全面イオン強化の割れ方は、一般的なガラスと同じ。	
耐熱ガラス	ほうけい酸ガラス	耐熱温度差120℃以上 400℃未満 ①直火用(150℃以上) ②オーブン用 ③電子レンジ用 ④熱湯用 (②③④は120℃以上)	熱膨張が小さく、耐熱性に優れる。	一般的なガラスと同じ。	コーヒーポット、サイホン、調理用ボール、鍋ぶた、皿類、哺乳びん
超耐熱ガラス	結晶化ガラス	耐熱温度差400℃以上	耐熱ガラスよりさらに耐熱性が高い。	一般的なガラスと同じ。	鍋、フライパンなど
クリスタルガラス	鉛クリスタルガラス、カリクリスタルガラス、バリウムクリスタルガラス等		一般的なガラスより透明度が高く、高級感がある。	一般的なガラスと同じ。	食器(コップ、グラス、ボール、皿類など) 工芸用(花器、置物など)

「知っていますか？ こんな危険 ガラス食器類の破裂や鋭利な割れ面で深い傷!!」(国民生活センター2000年3月)

### 3. 問題点

#### ①全面物理・積層タイプの割れ方などの特性が知られていない

元々、ガラスの欠点を補い強度を増して安全性を向上させたのが強化ガラスであるが、ガラス製品である以上、落下など物理的な衝撃や急な加熱や急冷などの熱衝撃が加われば割れる。また、一般的なガラスと異なり、キズ等が原因となって内層の応力の膨張に耐えられなくなり(6頁「図 強化ガラス破損のメカニズム」参照)、突然破損することがある。このとき、口部強化、全面イオン強化の割れ方は一般的なガラスと同様とされているが、全面物理・積層タイプは破損時に破片が鋭利なかけらまたは細片となって激しく飛散する。当センターを含め、過去にも注意喚起を行っているが、いまだに「コップが触ってもいないのにいきなり破裂した」「皿がいきなり破裂した。何故このようなことが起こったのか」といったような全面物理・積層タイプに特有の事例が見られる。

#### ②事前にキズを見つけるのは困難

事故品の原因究明により、破損に至ることになったキズの原点(「オリジン」といわれる)が見つかることはある。しかし、目視で判別できるような大きなキズが付いていることは稀であり、破壊が起こる前に消費者が気付く可能性は低い。さらに、キズの原点が消費者の取扱いに起因するものか、製造・出荷・流通の段階におけるものなのかを特定することも困難であるため、責任の所在が曖昧となることが多い。

#### ③判別の困難さ

外見だけではその食器が強化ガラス製なのか、どのタイプの強化なのか分からない。家庭用品品質表示法で対象となる強化ガラス製食器は、強化ガラス製であることや取扱い上の注意事項などを表示することとなっており、特に全面物理・積層タイプは破損時の危険性に関する注意事項を表示することとなっている。しかし、鍋とセットのふたのように付属品は表示が省略できることや、景品のような非売品は同法の対象外となっている。

表示の方法として、注意書きのシールが貼付されているが、シールがはがれてしまうと食器が強化ガラス製であることが分からなくなる。また、白い食器などの場合、白い陶磁器と似ており、区別しにくいものもある。

### 4. 事業者への要望

#### ①広報について

寄せられる相談を見ると、消費者にまだ強化ガラスの破損の特性について十分情報が行き渡っていない。事故防止のためのより積極的な広報活動が望まれる。

#### ②事故原因について

強化ガラス製食器の破損事故の場合、原因究明が難しい問題点がある。

事業者は事故情報が寄せられたとき、事故原因の究明を積極的に行い、被害の未然防止・拡大防止に資するよう努めること。また、製造・出荷・流通の各段階の取扱いに十分注意する。

なお、各々の製品で、本当に強化ガラスを素材として用いる必要があるのかを、まず検討すべきと思われる。

### ③表示について

注意表示がシールで貼られていたりするが、全面物理・積層タイプが破損した際の特性など、消費者にとって重要な表示でも、はがれてしまうと確認できない。使用するとき認識できるような表示方法への改善を望む。また、事故事例には景品や鍋とセットのふたのケースも寄せられている。景品などについても、同種被害の未然防止・拡大防止の観点から危険性を認識できるような表示を行うべきである。

## 5. 行政への要望

- ・ 鍋とセット販売されている鍋ぶたのように付属品的な扱いになるものや、景品などでも、強化ガラス製食器の事故が寄せられている。例えば、鍋とセットで売られている鍋ぶたにおいても、表示方法の検討が望まれる。
- ・ ラベルの貼り付けなどの注意表示は、はがれてしまえば確認ができない。使用するとき、全面物理・積層タイプの破損時の危険性が分かるような表示方法がなされるよう指導して欲しい。

## 6. 消費者へのアドバイス

- ・ 強化ガラス製といっても割れるものである。口部強化や全面イオン強化の割れ方は一般的なガラスと同様とされているが、全面物理・積層タイプの製品は、割れた場合、破片が鋭利なかけらまたは細片となって激しく飛散することがある。取扱説明書にも記載してあるので、使用に際しては十分に理解しておく。
- ・ 強化ガラス製食器では鍋ぶたの事故が目立つ。鍋ぶたには全面物理強化のものが多い。このタイプのふたは、急な加熱や急冷をきっかけに他の要因と相まって割れることがある。このとき破片が激しく飛散すると危険である。鍋ぶたは大きさの合ったものを使用して、ふたが熱せられるような使用方法はしないこと。
- ・ 全面物理・積層タイプは、洗浄の際はガラスを傷つけるおそれのあるクレンザーや金属製タワシなどは使用しないこと。また、欠けなどが見つかった場合、直ちに使用をやめる。

### 〔要望先〕

- ・ 経済産業省商務流通グループ製品安全課
- ・ 社団法人日本硝子製品工業会
- ・ 日本硝子食器工業会
- ・ 日本金属ハウスウェア工業組合
- ・ 日本ハウスウェア&インテリア協会

### 〔情報提供先〕

- ・ 内閣府国民生活局総務課国民生活情報室
- ・ 日本百貨店協会
- ・ 日本チェーンストア協会

- ・ 社団法人日本通信販売協会
- ・ 社団法人日本ドゥ・イット・ユアセルフ協会

< 本件連絡先 >

相談部危害情報室

TEL : 03-3443-6223

## 【参考 1. 強化ガラス製食器について】

ガラスの強度に関する特性としては、一般的に圧縮する力に対しては強いが、引張りの力に対しては弱い。そこで強化ガラスは、ガラスの割れる原因の「引張応力」に対抗するよう「圧縮応力」をガラスの表面に付加することによって、より割れにくくしたもので、食器類では、鍋ふたやコップ、調理ボール、皿などに用いられている。強化の方法としては、一般に物理強化、イオン強化、積層強化がある。種類は下表の通りである。口部強化や全面イオン強化の割れ方は一般的なガラスと同様であるとされる。

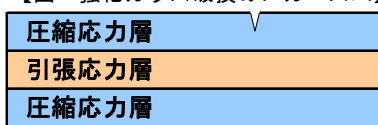
家庭用品品質表示法の雑貨工業品品質表示規程では「強化ガラス製の食事用、食卓用又は台所用の器具」として強化の種類や取扱上の注意表示などについて定められている。表示方法では、販売に際しては最小販売単位ごとに表示を消費者の見やすい箇所にわかりやすく記載すること、取扱い上の注意表示についてはラベルの貼り付けなど本体から容易に離れない方法で行うこと、とされている。

【表. ガラスの強化の種類および内容】

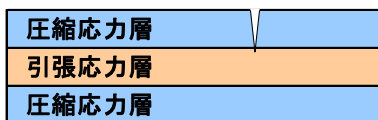
強化の種類	内容
全面物理強化	製品を加熱後急冷することによってガラス製品全面の表面に圧縮応力層を設け、製品の強度を増大したもの
全面積層強化	熱膨張係数の異なる2種類以上のガラスを高温で3層以上重ね合わせた後冷却することにより、ガラス製品全面の表面に圧縮層を設け、製品の強度を増大したもの
口部強化	コップなどは、口部から割れることが多いため、物理強化又はイオン強化により製品口部の表面に圧縮層を設け、口部の強度を増大したもの
全面イオン強化	ガラス表面をイオン交換することによって、ガラス製品全面の表面に圧縮応力層を設け、製品の強度を増大したもの

強化ガラスといってもガラス製品である以上、落下など物理的な衝撃や急な加熱や急冷などの熱衝撃が加われば割れる。特徴としては、強化ガラス内部の引張応力層にまで至るキズなどがつくと、力のバランスが崩れて粉々に割れる。また、突然割れる原因として、次の2つがよく知られている(図参照)。

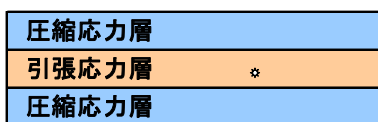
【図 強化ガラス破損のメカニズム】



強化ガラス表面の『圧縮応力層』にキズが発生する



物理的負荷によりキズが『引張応力層』に達する



製造時に強化ガラス中心部の『引張応力層』に不純物が混入



長期の使用により不純物が膨張しガラス全体を圧迫する

①ガラス表面のキズによるもの  
強化ガラス表面の『圧縮応力層』といわれる部分にキズがつくと、衝撃や温度変化などの物理的負荷により徐々に深度を増し、やがて『引張応力層』に達する。このとき、『圧縮応力層』がガラス内部の圧力に耐えきれなくなり、破裂的に破損する。

②ガラス内部の不純物によるもの  
強化ガラス中心部の『引張応力層』に硫化ニッケル(NiS)等の不純物が製造時に混入することが稀にある。これが、日常使用時の温度変化などにより長期間で徐々に膨張しガラス全体を圧迫すると、強度がそれに耐えられなくなり、破裂的に破損する。

参考として全面物理・積層タイプの強化ガラス製食器の注意表示の一例を以下に掲載する。

●全面物理強化ガラス製の鍋ぶた

品名：強化ガラス製器具  
強化の種類：全面物理強化  
取扱い上の注意

- ・高い所から落とす等、急激な衝撃を与えない下さい。
- ・鍋からずらしてご使用にならないでください。
- ・ガラスを傷つけるおそれのあるクレンザー、スポンジ、スチールたわし等は使用しないで下さい。
- ・破損した場合、破片が細片となって激しく飛散しますが大部分のガラスはリング枠内に残ります。
- ・割れたガラスを取り除くときは、十分ご注意ください。

●全面物理強化ガラス製のグラス

家庭用品品質表示法による表示  
品名：強化ガラス製器具  
強化の種類：全面物理強化

取扱い上の注意

- 高い所から落とす等、急激な衝撃を与えないで下さい。
- スチールたわし、クレンザー等の使用は製品をキズつける原因となりますので避けてください。
- キズ等の原因によりまれに自然破壊する場合がありますのでご注意ください。
- 破損した場合破片が細片となって激しく飛散することがあります。

●全面積層強化ガラス製の皿

品名：強化ガラス製器具  
強化の種類：全面積層強化

取扱い上の注意

注意事項を守らないと火傷やケガの危険があります。安全に長くお使いいただくために必ずお守り下さい。

(ガラス取り扱い時の注意)

●ご使用前にガラスの縁にヒビ、カケ等ないかご確認下さい。(洗浄時のケガ防止のため)

△注意 積層強化ガラス製品はガラス製品です。一般のガラス製品や陶磁器より丈夫にできていますが、決して「割れない」「欠けない」ということではありません。

●強いものについたり落としたりするなどの急激な衝撃を与えると割れることがありますので注意して下さい。

●また、その割れなくても、ついた傷が原因で後になって、急激な衝撃に割れることがあります。

●場合によっては破損

したとき、音をたてて、種かく、鋭利な破片となって激しく飛散することがありますので注意して下さい。また、底が抜けるように割れることがあります。洗浄やご使用前はていねいにお取り扱い下さい。

●ガラスにヒビ、カケ、強いスリ傷の入ったものは思わぬ時に破損することがありますので使用せずに破棄して下さい。

△注意 洗浄する場合は、やわらかいスポンジに中性洗剤をお使い下さい。研磨剤入りライオンたわし、命蓮たわしや、粒子の強いクレンザー等を使用しますとガラスが傷つき、破損する原因となるので使用しないで下さい。

●汚れのひどい時は、台所用漂白剤等をお使い下さい。



●ギザギザのついたナイフやスプーン等固いもので強くたいたりこすったりしないで下さい。傷がつき破損の原因となります。

●ガラス製品は破損すると鋭利な破片となります。破片は十分注意してお取り扱い下さい。

●廃棄する時は、ガラスびんのリサイクルに流入しないで下さい。(ガラス成分が異なるため)

●梅干し漬のフタなど、食器としての用途以外に使用しないでください。

(注)国民生活センターが市場で入手したもので、破損した場合に破片が鋭利なかけらまたは細片となって激しく飛散することがある旨の注意書きの記載があるものの一例として掲載した。

参考情報として以下をあげる。

- ・消費者注意被害情報(危害情報システムから)No.30「知っていますか? こんな危険 ガラス食器類の破裂や鋭利な割れ面で深い傷!!」(2000年3月23日公表)

([http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20000323\\_2.php3](http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20000323_2.php3))

- ・群馬県消費生活センターの商品事故情報「ガラス製のなべぶたが突然粉々に割れた!」

([http://www.pref.gunma.jp/cts/PortalServlet?DISPLAY\\_ID=DIRECT&NEXT\\_DISPLAY\\_ID=U000004&CONTENTS\\_ID=25975](http://www.pref.gunma.jp/cts/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=25975))

- ・東京都「東京くらしWEB」([http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/sodan/s\\_test/index.html](http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/sodan/s_test/index.html))

- ・家庭用品品質表示法について(経済産業省)

(<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/seian/hinpyo/index.htm>)

- ・事故情報特記ニュースNo.38「強化ガラス製食器の使用にあたっての注意事項について」(独立行政法人製品評価技術基盤機構(通称NITE) 2001年6月4日)ほか(<http://www.nite.go.jp/jiko/news/038/news38.htm>)

- ・平成16年度市場モニタリングテスト結果 家庭用品品質表示法に係る試買テスト「強化ガラス製の食器用、食卓用又は台所用器具」(NITE)

(<http://www.nite.go.jp/jiko/monitor/h16pdf/h16fy-quality-tempered-glassware.pdf>)

- ・(社)日本硝子製品工業会(<http://www.glassman.or.jp/>)

- ・日本硝子食器工業会(<http://www.glassman.or.jp/kougyou/index.html>)

- ・校内で児童が落とした強化ガラス製食器の破片で眼に受傷した事故につき事業者等との間で和解が成立した事例(東京地裁平成13年12月12日)

- ・校内で児童が落とした強化耐熱ガラス製食器の破片で眼に受傷した事故につき指示・警告上の欠陥があるとして製造物責任が認められた事例(奈良地判平成15年10月8日判例時報1840号49頁)

## 【参考 2. 強化ガラス製食器の破損に関する件数 (2009 年 5 月末現在登録分)】

①年度別

年度	件数
1999	7
2000	15
2001	10
2002	9
2003	8
2004	6
2005	7
2006	14
2007	19
2008	14
2009	2
合計	111

②危害・危険別

危害・危険別	件数
危害	20
危険	91
合計	111

(注)「危害」とは、商品・役務設備に関連して、身体にけがをした等という相談。「危険」とは「危害」には至っていないが、そのおそれがあるという相談。

③強化ガラス製食器の種類別

種類	件数
鍋やフライパンなどのふた	54
食器(コップ、グラス、皿など)	42
調理器具など(調理ボールなど)	15
合計	111

④危害内容別

危害内容	件数
刺傷・切傷	17
神経・脊髄の損傷	1
擦過傷・挫傷・打撲傷	1
その他の傷病及び諸症状	1
合計	20

⑤危害程度別

危害程度	件数
治療1週間未満	1
1～2週間	3
3週間～1ヶ月	1
1ヵ月以上	1
不明	3
医者にかからず	11
合計	20

⑥商品使用期間別

期間	件数
7日未満	4
1ヶ月未満	4
3ヶ月未満	6
6ヶ月未満	3
6ヶ月～1年	5
1年	11
2年	8
3～5年	12
6～8年	3
9年以上	7
合計	63

(注)使用期間が判明しているもの。

⑦商品入手方別

商品の入手方	件数
輸入	38
贈答品	12
景品	4

(注)商品の入手方が判明しているもの。

(注)PIO-NET で強化ガラスと区分されたものに関する集計である。



## 【参考3. 強化ガラス製食器の破損に関する事例】

### ●鍋やフライパンのふたの事故事例

妻が、ガラス製の鍋ふた付きの両手鍋で煮物を調理中、ふたを鍋から外してキッチン台に置いたところ、突然ガラスが粉々に割れて破片で手にケガをした。鍋ふたは、鍋とセットでその日に購入したものである。妻によると「ふたはずらしたりしていない。弱火で15分くらい調理であった。ふたを置いてから数秒で破裂し、半径1メートルくらい細かい破片が飛んだ。」とのことであった。(消費者トラブルメール箱)	事故年月：2009年4月 当事者：40歳代、女性、神奈川県
3年前に購入の鍋で煮物を調理していた。強化ガラス製の鍋ふたを載せたところ、破裂するように粉々に砕けた。ケガはしていない。蓋には急激に冷やしたりぶついたりすると破損する場所があるとの記載があるが、そのような事をした覚えはない。3年くらいで壊れるものなのだろうか。	事故年月：2008年12月 当事者：70歳代、女性、青森県
鍋で調理中、沸騰したため強化ガラス製のふたを少しずらして席を外していた。パンという音がしたので見に行くとガラスが粉々に割れ、鍋の中だけでなく鍋の外に散らばった破片もあった。5年前にスーパーで購入したもの	事故年月：2007年11月 当事者：50歳代、女性、大阪府
フライパンで調理後、輸入品の強化ガラス製ふたを調理台の上に置いておいた所、約15分後爆発音がして割れた。ケガはしていない。ふたの5分の1は飛散し、他は蜘蛛の巣状の亀裂が入った。1ヶ月ほど前にテレビショッピングで購入した。	事故年月：2006年8月 当事者：50歳代、女性、京都府

### ●コップ、グラスの事故事例

約1年前にセットで買ったグラスの中の1個が、食器棚の中で粉々に割れていた。ケガはしていない。販売店に連絡したところ、グラスは強化ガラスで輸入品。同種事例は聞いた事がないという。	事故年月：2008年8月 当事者：40歳代、女性、長崎県
夫がサーバーから熱いお茶を注いだ途端グラスコップが爆発音と共に2m四方に粉々に砕け散り、手首から血がにじんだ。通信販売で5日前に5個購入した。輸入品で表示はその国の言語のみ。日本語の注意書きはない。	事故年月：2008年2月 当事者：男性、愛知県
飲食店で出されたコップが触ってもいらないのにいきなり破裂し服が濡れた。ケガはしていない。コップは強化ガラスだという。	事故年月：2007年12月 当事者：20歳代、女性、神奈川県
ペットボトルお茶を冷蔵庫から出して5分間程してから3ヶ月ほど前に購入した輸入品の強化ガラス製コップに注いだところ、2、3分後にパキッと音がして破裂し約1m四方に破片が飛び散った。ケガはしていない。多くの人に周知して欲しいと思い情報提供した。	事故年月：2007年4月 当事者：50歳代、女性、高知県

### ●皿の事故事例

景品でもらった輸入品の皿にフライパンで調理した春雨を盛りつけたところ、爆発したような音がして皿が破裂した。ケガはしなかった。皿が強化ガラス製だとは知らなかった。(消費者トラブルメール箱)	事故年月：2009年2月 当事者：40歳代、女性、愛知県
飲食店を営んでいる。1年程前に購入した輸入品の強化ガラスの皿に果物を載せたところ、いきなり皿が爆発して破片が飛び散った。ケガはしなかった。頻りに使用していたわけではないし、洗い方も普通でぶつけた覚えもない。何故このようなことが起こったのか。	事故年月：2008年2月 当事者：50歳代、男性、埼玉県
洗って乾かした強化ガラス製の皿を収納しようと手に持ったところ、破裂するように突然割れた。左手の薬指の付け根の部分深く切った。3針縫い、神経を損傷しており手術が必要になるといわれた。皿は1年程前に景品でもらったもので輸入品	事故年月：2006年4月 当事者：50歳代、女性、埼玉県

### ●調理用ボールの事故事例

洗浄した強化ガラス製調理ボールの上に重ねるようにプラスチックのボールを置いてたところ、10分くらい経過してから爆発音と共に粉々に飛び散った。ケガはしなかった。10年位前に通信販売で購入したもので輸入品	事故年月：2008年10月 当事者：50歳代、女性、群馬県
室温で置いておいた強化ガラス製ボールに常温のだし汁を入れたところ、15分後大音響と共に天井まで破片が届く程の勢いで爆発した。破片で指を切った。輸入品で、購入して1ヶ月弱、2回ほどサラダを作るのに使用した程度	事故年月：2005年12月 当事者：40歳代、男性、東京都
強化ガラス製ボールに牛乳と市販のデザートのを入れてかき混ぜていたところ突然破裂した。ケガはしなかった。数年前に購入したもので輸入品	事故年月：2005年3月 当事者：30歳代、男性、大阪府

(注) 上記の事例は全てが強化ガラスの種類(全面物理強化、全面積層強化、全面イオン強化、口部強化)まで判明しているものではない。

<title>強化ガラス製食器の破損事故 - 強化ガラスの種類によっては破損時に激しく破片が飛ぶことも - </title>